

令和8年度
当初予算

予算総額 834億4,227万円 (2.5% ↑)
一般会計 422億5,002万円 (4.3% ↑)

令和8年度一般会計当初予算は、予算編成と市長選挙の時期が重なったため、骨格予算として編成しました。これは、人件費や公債費・施設管理費などの経常的経費を中心とし、原則として新規事業などを除外した予算です。政策的経費や新規事業は、6月に補正予算として計上する予定です。一般会計の予算総額は422億5,002万円となり、前年度と比較して4.3%の増加となりました。一方で、特別会計当初予算額は212億840万円となり、前年度と比較して0.5%の増加となりました。

問合せ先 行財政管理課 ☎072-433-7267

当初予算の概要

※金額は端数調整を行い万円単位で表示

区分	令和8年度	令和7年度	増減率(%)
一般会計	422億5,002万円	404億9,180万円	4.3
特別会計			
国民健康保険事業	93億8,901万円	98億2,273万円	-4.4
財産区	9億 330万円	9億3,075万円	-2.9
介護保険事業	92億1,134万円	88億2,207万円	4.4
後期高齢者医療事業	17億 475万円	15億3,428万円	11.1
小計	212億 840万円	211億 983万円	0.5
公営企業会計			
水道事業	35億1,107万円	34億1,869万円	2.7
下水道事業	58億5,775万円	56億1,693万円	4.3
病院事業	106億1,503万円	107億9,524万円	-1.7
小計	199億8,385万円	198億3,086万円	0.8
合計	834億4,227万円	814億3,249万円	2.5

詳しくは、ホームページ・図書館・市役所2階情報公開コーナーで閲覧できます。

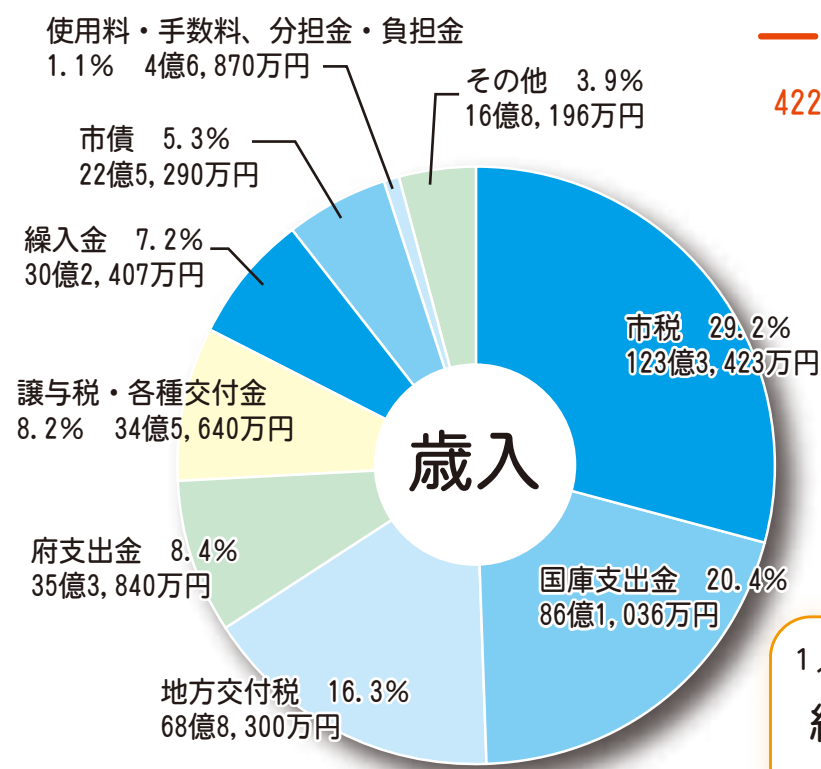


ホームページ

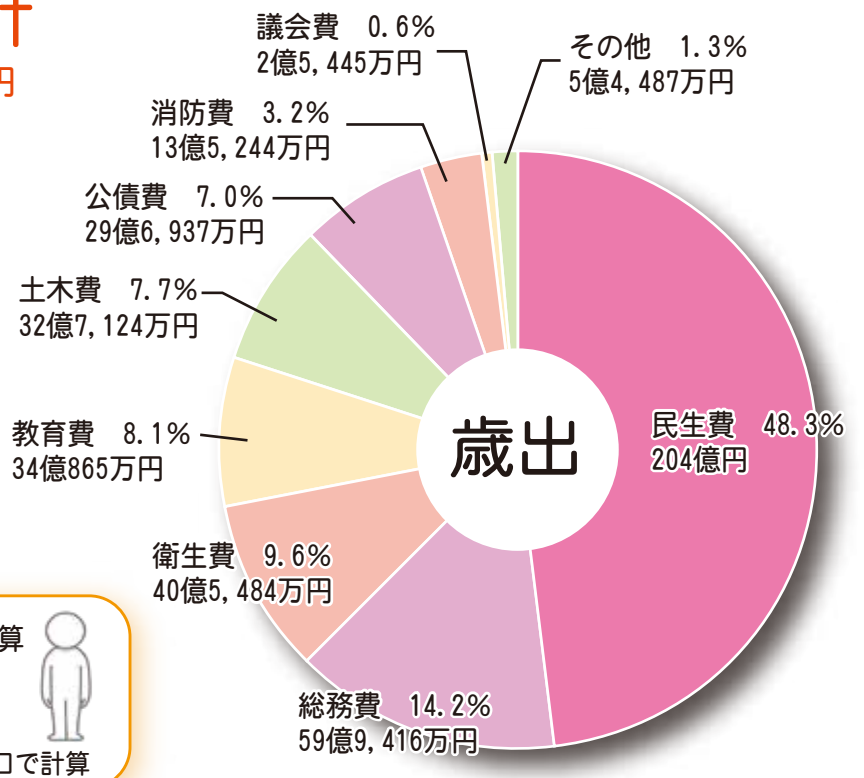


一般会計：市税・地方交付税を主な財源として、教育・福祉・道路・公園など市が行う事務・事業を経理する中心的会計。
 特別会計：特定の事業を行う場合、または一般会計と区分して経理する必要がある場合に設置する会計。
 公営企業：地方公営企業法の適用を受け、原則としてその事業経費のすべてを事業収入で賄い、独立採算制をとる会計。

一般会計予算の歳入と歳出については、金額の大きい順に表示しています。



一般会計
422億5,002万円



1人当たりの予算
約52万円
1月末現在の人口で計算

職員の名札表記を変更します

4月から職員が着用する名札を変更します。



- ・フルネームから名字のみの表記へ
- ・ローマ字を併記

問合せ先 人事課
☎072-433-7324

新しい副市長を紹介します

(敬称略)



茶谷幸典 (60歳)

主な経歴

- 平成2年4月1日 貝塚市採用
- 平成27年4月1日 教育部総務課長
- 平成29年4月1日 行財政管理課長
- 令和2年4月1日 総合事務局長
- 令和4年4月1日 都市政策部長
- 令和5年4月1日 総合政策部長
- 令和8年3月1日 貝塚市副市長就任

問合せ先 秘書課 ☎072-433-7316